

# 定期予防接種の時期と方法

☆ 実施医療機関で個別接種となります ☆

港区みなと保健所

令和8年4月1日

種類	回数	お知らせ・予診票送付時期(原則)	対象年齢	標準的な接種期間と回数
母子免疫ワクチン RSウイルスワクチン(注1)	1回	妊娠届出書に基づき発行します。	妊娠28週0日から36週6日まで	妊娠28週から37週に至るまでの間に、1回(ただし妊娠39週に至るまでの間に妊娠終了を予定している場合、その14日前までに接種)
ロタウイルスワクチン	ロタリックス(1価)	生後2か月になる月の前月末	生後6週以上24週まで (初回接種が15週以降になる場合は医師と要相談)	生後2か月から24週までの間に、27日以上の間隔を置いて、2回接種
	ロタテック(5価)			生後2か月から32週までの間に、27日以上の間隔を置いて、3回接種
小児用肺炎球菌ワクチン	初回3回 追加	生後2か月になる月の前月末	生後2か月以上60か月(5歳)未満	生後2か月から7か月未満の間に、27日以上の間隔を置いて、3回接種 生後12か月から15か月未満の間に、初回3回目の接種終了後60日以上の間隔を置いて、1回接種
B型肝炎ワクチン	3回	生後2か月になる月の前月末	1歳未満(注2)	生後2か月から9か月未満の間に、27日以上の間隔を置いて、2回接種後、1回目の接種から139日以上の間隔を置いて、1回接種(139日以上の間隔をおく=20週後の同じ曜日)
BCG(結核)	1回	生後3か月になる月の前月末	1歳未満	生後5か月から8か月未満の間に、1回接種
DPT-IPV-Hib1期(5種混合) ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ、ヒブの混合ワクチン(注3)	初回3回 追加	生後2か月になる月の前月末	生後2か月以上(注4) 90か月(7歳半)未満	生後2か月から7か月未満の間に、20日以上の間隔を置いて、3回接種
ヒブワクチン(インフルエンザ菌b型) 5種混合接種の場合は不要	初回3回 追加	必要な方はご連絡ください		生後2か月から7か月未満の間に、27日以上の間隔を置いて、3回接種 初回3回目の接種終了後7か月以上の間隔を置いて、1回接種
DPT(3種混合) IPV(単体不活化ポリオ) 5種または4種混合接種の場合は不要	初回3回 追加	必要な方はご連絡ください		生後2か月から12か月未満の間に、20日以上の間隔を置いて、3回接種 初回3回目の接種終了後6か月以上、おおむね12か月から18か月の間隔を置いて、1回接種
麻しん風しん混合(MR)ワクチン	1期 2期	1歳になる月の前月末 小学校就学前年(年長児)の4月		生後12か月以上24か月未満(注5) 小学校就学前の1年間(年長児)(注5)
水痘	1回目 2回目	1歳になる月の前月末	生後12か月以上36か月未満	生後12か月から15か月未満の間に、1回目を接種 1回目の接種終了後3か月以上、おおむね6か月から12か月の間隔を置いて、2回目を接種
日本脳炎	1期初回 2期	3歳になる月の前月末	生後6か月以上90か月(7歳半)未満 (日本脳炎特例措置についても参照してください)	3歳で、6日以上の間隔を置いて、2回接種
	1期追加	4歳になる月の前月末		4歳で、初回2回目の接種終了後6か月以上、おおむね1年の間隔を置いて、1回接種
	2期	9歳になる月の前月末		9歳で、1回接種
日本脳炎特例措置について	日本脳炎の積極的な接種勧奨を控えていた時期の対象者のうち、平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれの方は、特例対象として1期初回から2期までの未接種分を20歳未満まで接種することができます。			
DT2期(2種混合) ジフテリア、破傷風の混合ワクチン	1回	11歳になる月の前月末	11歳以上13歳未満	11歳で1回接種
HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチン	シルガード9(9価) (注6)	2回または3回	小学6年生から 高校1年生相当の女子 (12歳になる年度の初日から16歳になる年度の末日まで)	○1回目の接種を15歳になるまでに受ける場合 1回目の接種終了後6か月の間隔を置いて、1回接種 ○1回目の接種を15歳になってから受ける場合 2か月の間隔を置いて2回接種後、1回目の接種から6か月の間隔を置いて、1回接種 ※接種についての詳細は港区のホームページをご覧ください。

東京都23区内の指定医療機関で接種する際は、港区が発行した予診票を対象年齢までにお持ち下さい。予診票をお持ちでないと自費になります。

- (注1) 令和8年4月1日から定期予防接種になりました。妊婦への能動免疫によるRSウイルスを原因とする新生児及び乳児における下気道疾患予防のワクチン(母子免疫ワクチン)です。
- (注2) HBs抗原陽性の妊婦から生まれた乳児として、健康保険により出生後にB型肝炎ワクチンの投与(抗HBs免疫グロブリンを併用)の全部または一部を受けた人は除きます。
- (注3) 令和6年4月1日から定期接種になりました。4種混合で不足の回数がある場合、5種混合で残りの回数を接種できます。
- (注4) 令和5年4月1日から対象年齢が生後3か月以上から生後2か月以上に変更になりました。
- (注5) 麻しん風しん混合(MR)ワクチンの定期予防接種の機会を逃した人に対して、港区独自の任意接種助成制度があります。詳細は区のホームページをご覧ください。
- (注6) 令和8年4月1日からシルガード9(9価)のみが対象ワクチンとなりました。サーバリックス(2価)、ガーダシル(4価)を定期予防接種として接種することはできません。

※おたふくかぜワクチンの予防接種は1歳~小学校就学前の1年間(年長児)の人に対して、港区独自の任意接種助成制度があります。詳細は区のホームページをご覧ください。

※季節性インフルエンザの予防接種は生後6か月~高校生相当年齢の人に対して、港区独自の任意接種助成制度があります。詳細は区のホームページをご覧ください。

《 港区へ転入された方・予診票を紛失された方・交付時と住所が変更になった方等 》  
上の表における「お知らせ・予診票送付時期」を過ぎている場合、区から自動的に予診票は送付されません。  
母子健康手帳(親子手帳)等、お子様の予防接種記録をご用意の上、区へ発行をご申請ください。



予診票の申請は、港区ホームページから電子申請をご利用ください!

【接種間隔について】

注射生ワクチンの接種を受ける場合には、同一種類のワクチンについて定められた接種間隔とは別に、間隔をあけることが必要な場合があります。

【注射生ワクチン】  
BCG  
麻しん・風しん  
水痘  
おたふくかぜ(任意)



【注射生ワクチン】  
BCG  
麻しん・風しん  
水痘  
おたふくかぜ(任意)

注射生ワクチン接種後、他の注射生ワクチン接種は4週間(27日間)以上空ける。

\* かかりつけの医師との相談や、港区のアプリを活用してお子さんの予防接種スケジュールを立てましょう。

★ ☆ みなと母子(親子)手帳アプリのご案内 ☆ ★

予防接種と健診のスケジュール管理ができる便利なアプリです。

右の二次元バーコードからアプリやWEB版にアクセスできますのでぜひご利用ください。

アプリの詳細については区ホームページにも掲載しています。「港区 予防接種 アプリ」等で検索☆

【問合せ】 港区みなと保健所保健予防課予防接種予診票コールセンター 港区三田1-4-10 電話03-6400-0094 FAX03-3455-4460

Google Play  
App Store  
WEB版(ブラウザ)も利用可能

AppleはAppleロゴは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。  
App StoreはApple Inc.のサービスです。  
Google PlayおよびGoogle PlayロゴはGoogle LLCの商標です。